

# ごとう通信

第126号

平成23年6月1日

季節は春から初夏へ。そんなことを言っている間に突然の梅雨入り。びっくりしますよね。今年は「想定外」の連続で、ちよつとあきれてしまいます。

このシーズンの悩みは何と云っても雨天での自転車走行。もちろんキヤップにレインウェア、そして今年は数十年ぶりに長靴なんてものも買って重装備です。実は長靴、考えてみれば最近ほとんど履いたことがありません。よく考えてみると：三十年ぶり？

それでも雨の日  
は数件訪問し



ている間に中も濡れちゃうんです。一件目、二件目はいいのですが、それ以降は濡れているレインウェアを着なくてはならないので着るのも大変、脱ぐのも大変！冬の雨と違って冷たくないのだけが救いです。夏男の僕としては、早く梅雨明けしてくれるのを待つのみです。

さて、先日、オリンピックのメダリストと対談をさせていただきました。それもレスリングで、ロサンゼルス、ソウルと二大会連続の銀メダリストの太田章先生です。今は早稲田大学の教授をされています。

太田先生は、決してレスリングが強くない早稲田大学に進学しながらも世界を目指し、素晴らしい結果を残されたのです。本来、オリンピックを目指すなら、自衛隊体育学校や強

豪大学に行くのが普通だと思っただけですが。実は五木寛之氏の「青春の門」を読んで早稲田を目指したとのこと。その分、他の選手にはない苦労をしながら、一般大学の学生としても充実した青春時代を送られたようです。何かそういった「人間力」のようなものが太田先生の強さの根本のように思いました。

その後、実際に二つの銀メダルに触らせていただきました（写真は本人とメダル）。嘘のような話ですが、本当に鳥肌が立ちます。自分で努力して手にするわけでもないのですが、これが世界の重みなのでしょうか。

ちなみに太田先生の名語録。「二兎

